

木工の街 鹿沼をアピール

— 第36回鹿沼木工団地祭青空市 —



鹿沼木工団地協同組合主催の青空市が6月4・5日の両日、木工団地多目的広場で行われました。

青空市は、毎年鹿沼さつき祭り期間に合わせて開催され、木工の街鹿沼を市内外に広くPRしています。

青空市にふさわしい快晴の下、会場では、家具やタンス、座卓、ベッドなどが格安で販売。1/100チャリティー抽選会や丸太切り大会、チェーンソーカービング実演などが行われました。

来場者はお目当ての品を求めて熱心に品定めしていました。

減災のカギを握る防災意識

— 土砂災害・全国統一防災訓練 —

6月12日、「土砂災害・全国統一防災訓練」が市内各所で実施されました。昨年に続き2回目になるこの訓練では、工業団地北の高速道路ガード下・木工団地内や千渡の市道の冠水を想定し行われました。通行止めにする訓練では、市・消防署・鹿沼警察署・鹿沼土木事務所の連携を確認しました。

板荷地区では、大雨による土砂災害を想定し、避難訓練を実施。自主防災会を中心に、地元消防団が広報車や徒歩で板荷2区地内55世帯に避難を呼びかけ、避難所への誘導訓練を実施しました。さらに、避難所では防災講習会も行われ、防災意識を高めました。





ふるさとの花、さつきを咲かせよう！ — さつき小児童が、さつき挿し芽体験 —

6月15日、花木センターでは、子どもたちに郷土の文化を伝えようと「さつき育成体験プログラム」が始まりました。

6年間のこのプログラムに参加するのは、さつきが丘小の1年生。第1回目は、さし芽体験です。職員から説明を受けた後、順番に、小さな手で小さな新芽を苗床に挿す作業に取り組みました。

作業後、子どもたちは、花の咲く様子を思い浮かべながら、「大きく育てね」と声をかけたり、無事育つように両手を合わせてお祈りしていました。子どもたちとともに成長するさつきの苗、元気に育てほしいですね。

秋の豊作を夢見て、本伏せ作業！ — 東部台地区できのこの栽培体験 —

東部台地区コミュニティ推進協議会では、おととしから元気な森づくり県民税を活用してキノコの栽培を行っています。今年は、3月にヒラタケの種菌を行いました。

6月26日は小雨の降るなか、地域のみなさんが、植菌された原木の本伏せ作業が手際よく進めました。

今後、協議会では、水遣りや施肥など、作業を分担して行い、11月には100kgの収穫量を見込んでいます。今から収穫祭が楽しみです。



放課後も、元気に楽しく過ごせるね！ — みどりが丘小学童保育施設オープン —

6月29日、みどりが丘小の敷地内に学童保育施設がオープンしました。これまで、さつきが丘小の施設を利用していただいていた子どもたちにとって、待望の日。竣工式では、満面の笑顔を見せてくれました。

新しい施設に入ると「友だちとボードゲームがしたい!」「宿題は、一番最初に終わらせるよ」と元気一杯。上級生が配ってくれたおやつを手に、楽しい会話も弾みます。みんな仲良く、楽しく過ごせそうですね。